

私は**横断歩道の歩行者優先を徹底**します。

全日本デリバリー業安全運転協議会・京都府警察

図5 横断歩道の歩行者優先宣言シール



図6 ターフビジョンでの啓発状況

具体的には、府内全域に展開するコンビニエンスストアにおいて、本年9月の秋の行楽期間に合わせて、店内に飲酒運転禁止ポスターを掲示し、また、酒類販売コーナールにおいて「飲酒運転禁止」シールを酒類陳列冷蔵庫のガラス扉に貼付し、飲酒運転に対する啓発を実施するとともに、店員による店舗駐車場の巡回、飲酒運転現認時における通報を依頼しています。

信号機のない横断歩道対策

JAFが発表した「信号機のない

横断歩道での歩行者優先についての調査結果」では本府内で、信号機のない横断歩道において一時停止した車は、3・8%で47都道府県中38位となりました。このため、横断歩道における歩行者優先の徹底に向けて、日常、車両を活用して商品を配送している企業と歩行者優先対策を推進しました。

(1) デリバリー業界との連携

従業員に対する交通安全活動に力を注いでいる全日本デリバリー業安全運転協議会と、本年7月から連携し、同協議会に参画する府内資本の企業の配送車両83台が、業務運転中における歩行者優先運動に取り組んでいます。

(2) 歩行者優先宣言式の開催

同協議会では、「私は横断歩道の歩行者優先を徹底します。」のシールを独自に作成するとともに、本年9月24日に本府警察本部において、同協議会理事並びに、府内のピザ宅配企業の代表者、配送車両が参加した歩行者優先宣言式を開催し、デリバリー企業の歩行者優先運動がさらに強化されました。

日本中央競馬会との連携

●ターフビジョンを活用した交通安全情報の発信

京都市伏見区淀に所在する京都競馬場は、レース開催日並びに土、日の場外馬券販売日には、多数の集客があり、特にGIレース開催日は4万5000人が来場するとともに、同競馬場駐車場は約8000台の駐車が可能であることから、同所に訪れる観客に対して、コースに設置されている大型映像モニターのターフビジョン2台を使用して、本年10月からタイムリーな各種交通安全情報を発信しています。

おわりに

今後とも、府内の交通事故の発生状況を踏まえつつ、関係機関・団体等との連携による広報啓発活動と、悪質・危険・迷惑性の高い違反に対する指導取締り、交通安全施設の整備など総合的な交通事故抑止対策を推進してまいります。

(たきすみ・はじむ)